

KANGO

青

い

森

P12 令和7年度
保健師の
魅力発信事業

P9 医療的ケア児
支援看護師技術研修

P7 研修Report

contents

- 広報委員企画「ママナース」 p.02
- 災害訓練 p.03
- 青森県訪問看護総合支援センターの取り組み p.04
- 看護職の需要及び離職状況調査結果 p.05
- 教育研修課 p.06-07
- 事業報告 p.08-10
- 青森県看護協会会員限定企画 p.11
- 職能委員会 p.12-13
- 研修等開催お知らせ p.14
- 意見交換会 p.15

ママナース

育児と仕事の 両立について

今回は子育て世代の働き方についてご紹介します。
社団法人慈恵会青い森病院に勤務するママナース2名です。
職場の制度を活用しながら、仕事に子育てに奮闘中です。



米坂 綾乃 さん

仕事と家庭を両立させることは、思っていた以上に私にとって大きな挑戦となっています。仕事と家庭の両立は決して簡単ではありません。その中で私は、職場の制度と周囲の理解に支えられながら日々取り組んでいます。現在、育児短時間勤務制度を利用し、夜勤も免除して頂いています。子供の体調や行事等で勤務に支障が出ることもありますが、その都度師長に相談できる環境があり、限られた時間の中でも最善を尽くせることに大きな安心を感じています。

家庭では、自己主張の強いイヤイヤ期の2歳児と思春期真っ只中の小学6年生の2人の子育てに奮闘しています。年齢の違う2人に向き合うのは大変ですが、それぞれの成長を感じられる瞬間が大きな喜びとなっています。仕事と家庭の両立には工夫や我慢も必要ですが、職場の支えと家族の存在が私の大きな力となっています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、出来る限り前向きに取り組んでいきたいと思っています。

私は青い森病院に勤務し、10年になります。途中で、産休・育休を頂きました。初めての育児であり、最初は不安の方が大きかったです。復帰してから最初の方は、長男は熱を出しやすく、保育園からの呼び出しが結構ありました。しかし、ありがたいことに職場の皆さんは優しくフォローして下さり、育児にも理解を得られる環境で良かったなと思います。さらに現在は、フルタイムで働いていますが、夜勤は免除して頂いています。

おかげさまで、仕事終わりは公園に行くことが日課となっています。仕事から帰ると、疲れて夕食の準備も出来ないこともあります。そのような時は、朝早めに起きて、夕食の準備をしてから勤務するようにしています。1日1日があっという間ですが、自分のやるべき仕事はなるべくその日のうちに出来るように、優先順位を決めて仕事するようにしています。

下山 江梨花 さん



災害訓練

青森県看護協会BCP訓練 令和7年9月5日

青森県看護協会では、災害や不測の事態に備え、事業継続計画（BCP）に基づいた訓練を実施しました。訓練では地震発生を想定し、初動対応や職員の安全確保等、対応手順などを確認しました。

訓練を通じて、実際に行動に移す際の課題や改善点を共有することができました。



内閣府主催「大規模地震時医療活動訓練」 令和7年9月5日・6日



青森県看護協会では、「大規模地震時医療活動訓練」に参加し、青森県庁内に設置された「保健医療福祉調整本部」の活動指揮チームに初めてプレイヤーとして、またコントローラーとして従事しました。

各チームや関係機関と連携し、被災状況やニーズを把握しました。災害支援ナースは、87名中35名が活動不可の状況となる中、災害拠点病院への応援派遣及び医療機関や避難所からの応援要請に対応しました。

今後社会福祉施設等からの応援派遣が想定され、災害支援ナースの県内の調整では対応できないことから、県外派遣を要請することとし、訓練終了時点で、県の担当者から厚生労働省へ派遣調整の要請をしました。臨場感あふれる有意義な訓練となりました。



日本看護協会災害支援ナース派遣調整合同訓練が実施されました 令和7年9月9日・10日

令和7年9月5日・6日で行われた内閣府及び地方公共団体が実施する「令和7年度大規模地震時医療活動訓練」を活用し、災害支援ナースの派遣調整が円滑に行われるよう、日本看護協会が模擬訓練を行いました。現在の仕組みでは、有事の際、青森県からの派遣要請を受け、当協会が災害支援ナースの派遣を調整することになっています。今回の訓練に青森県看護協会では、県担当課から派遣要請を受け、災害支援ナース所属施設と連絡をとりながら派遣決定に至るまでの経過を訓練しました。今回は、県立中央病院にのみ協力をお願いし、県内からの派遣調整訓練を実施しました。と同時に、被災想定県である青森県は、県外の災害支援ナースを受け入れる調整も行うという訓練内容でした。メール・FAX等を活用

する机上での訓練ですが、実際に派遣調整を行う際の課題等が見いだされた訓練でした。連絡体制や使用する様式、いかに迅速に正しい情報を伝えるか、改善すべき点がたくさん見つかりました。ご協力いただいた県立中央病院様からのご意見もふまえ、今後見直ししていきたいと思います。





訪問看護の質向上に関するセンターの取り組み

青森県訪問看護総合支援センター 目的と機能

訪問看護の様々な課題を一元的・総合的に解決するための拠点

3つの目的



7つの機能

- ① 訪問看護事業所経営基盤整備支援
- ② 訪問看護事業所開設等相談支援
- ③ 潜在看護師・プラチナナース就業促進
- ④ 人材出向支援
- ⑤ 新卒看護師採用に向けた取組
- ⑥ 訪問看護に関する情報分析
- ⑦ 研修・教育実施体制の組織化

当センターの目的は「経営支援」「人材確保」「訪問看護の質向上」の3つです。これらはそれぞれ独立したものではなく、互いに重なり合いながら訪問看護を支えている大切な要素です。今回はその中から、目的のひとつである「訪問看護の質向上」への取り組みをご紹介します。

01 訪問看護の質向上に関する取り組み

当センターは青森県医療計画に基づき、地域包括ケアの推進と在宅医療の充実をめざして運営しています。事業仕様書では「教育・研修体制の組織化」の一環として質向上研修の実施が定められていますが、私たちは単なる研修開催にとどまらず、訪問看護師の皆さんが身近に学べる仕組みづくりを進めています。

その一例として「エコーを活用した排泄ケア研修」を実施しています。排泄ケアは訪問看護で最も多いケアのひとつであり、ポケットエコーを使って排泄状況を“見える化”することで、看護判断をより確かにし、安心できるケアにつなげることができます。

研修では、視覚情報を活用したアセスメント方法やケア後の変化を確認する知識・技術を学んでいただきます。今年度は既存の教育パッケージに加え、八戸学院大学での開講により演習用ベッドなど学びやすい環境も整えました。こうした取り組みを通して、地域における継続教育の体制づくりを進めています。

02 訪問看護ステーション実態調査から見た法定研修の課題と対応

最近「法定研修に関する相談」がいくつか寄せられたため、県内150施設に調査を実施し、102施設から回答（回収率68.0%）をいただきました。そのうち64施設（62.7%）が「課題あり」と回答し、「外部研修の情報が得にくい」「近隣で開催がない」「事業所内での企画に不慣

れ」「伝達講習の負担」などが挙げられました。必要な支援としては「外部研修の情報」や「Web研修の案内」が求められています。

一方、課題が少ないステーションでは、eラーニングを導入して全員が定期的に受講できる体制を整えたり、職員数が多いステーションでは年間計画を立てて交代で研修を担当するなど、工夫して取り組んでいました。

この結果は7月の青森県訪問看護ステーション連絡協議会理事会や令和7年度第1回運営協議会で共有し、課題解決に向けて話し合いました。法定研修の中には必須要件が厳密に定められていないものもあるため、当協会内や関係団体が企画する研修も活用できるよう、今後も情報収集と提供を続けていきます。

03 訪問看護師に向けた教育・研修体制の組織化

先に述べたとおり、当協会内や青森県介護支援専門員協会等の関係団体が企画する研修や、在宅に関連する学会・学術集会等を案内し、広域での研修機会を周知しています。また、青森県訪問看護ステーション連絡協議会とは、理事会や運営協議会を通して課題や取り組みを共有し、次年度の事業計画に役立てています。教育・研修体制の組織化は、開設3年目を迎え少しずつ前進しています。今後も皆さまの応援をよろしくお願いします。

記：青森県訪問看護総合支援センター センター長 其田 貴美枝



遠慮なくご相談ください

メール相談 + 24時間受付 +

青森県訪問看護総合支援センターホームページ
✉ houmon-soudan@egao-park.net



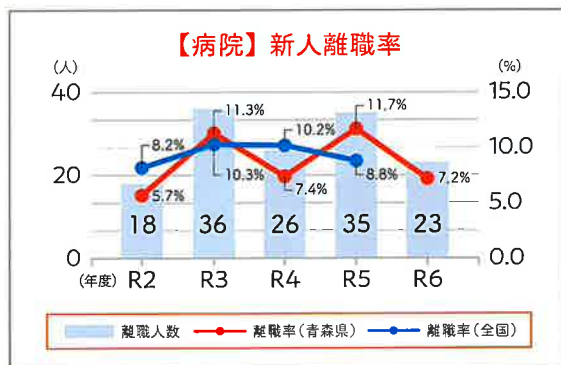
《新人看護職員の離職状況》

新人看護職員離職率

令和5年度は11.7%と全国平均(8.8%)を上回り、過去5年間で一番高い離職率でしたが、令和6年度には7.2%に改善しました。しかし年度ごとの変動が大きく、不安定さがあり今後の課題と捉えることができます。今後も推移を注視していきます。

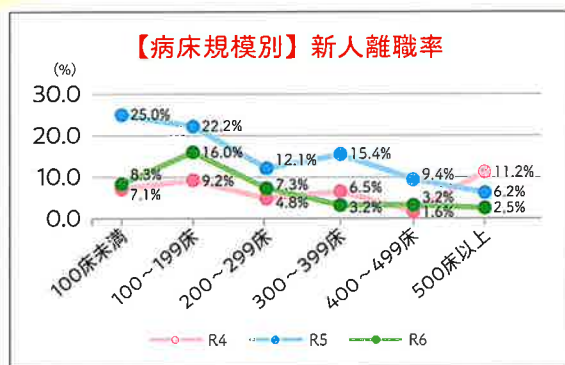


離職防止は“職場全体のチーム戦”です。
一人ひとりが安心して成長できる環境づくりを、
これからも続けていきましょう!!



病床規模別新人離職率

令和5年度(青線)は全規模で離職率が高く、特に100床未満で25.0%と突出していましたが、令和6年度(緑線)は全規模で令和5年度に比較し改善され、特に300床以上では2~3%台まで下がっており、教育・支援体制が影響したもののと思われます。今後は、教育担当専任看護師を置くことが難しい小規模病院(199床未満)の離職対策強化のために、研修の企画を考えていきます。



新人の成長は職場全体の財産です。
みんなで支えていきましょう!

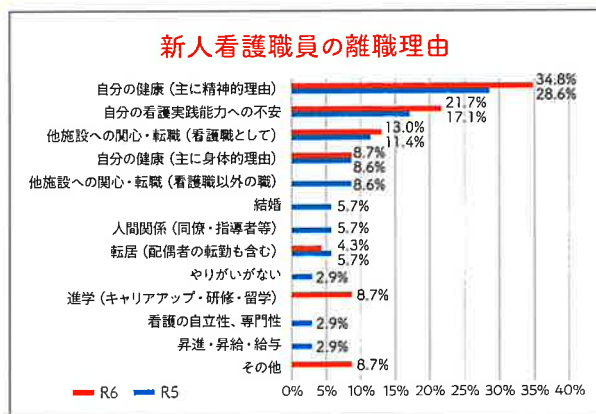


新人看護職の離職理由

令和6年度に離職した新卒看護職の施設看護管理者が考える退職理由の1位は、「自分の健康(主に精神的理由)」、2位「自分の看護実践能力への不安」、3位「他施設への関心・転職(看護職として)」で、令和5年度と同様となり、さらにその割合はいずれも増加傾向にありました。

離職率は昨年度より改善されましたが、離職理由は固定化され、精神的健康や能力への不安が続いていることは、継続的な支援の必要性を感じます。また、自分の働く場所を変更する他施設移動が一定数あり、1位・2位の理由が不満足要因となり結果としてやりがいや満足感が無くなり転職を選択していると推測されます。

職場全体で支え合い“成長できる環境”をつくるのが大切で、その課題に看護協会として継続して取り組めるよう、支援していきたいと思います。



新人看護職の皆さん! 指導者の皆さん!

「心の相談窓口」は、“育つ人”と“育てる人”のための心の相談窓口です。小さなモヤモヤや溢れそうな悩み、仕事のこともプライベートのことも、ちょっと聞いて欲しい、整理したいと思うことはありませんか?

あなたの気持ち、
一人で抱え込まないで!



「少し疲れたな」と感じたら迷わずご利用ください。あなたの心の健康は、あなたの看護の力を支える大切な土台です。

教育研修課

ゴール目前

ラストスパートのサードレベル受講生の【まなぶ】こと

弘前愛成会病院 中村 礼子 さん

趣味

キャンプ・溪流釣り、ランニング。
昨年ハンターになりたくて狩猟と猟銃の免許を取得しました。



なりたい自分・将来ビジョン

自施設のスタッフが誇りとやりがいをもって働ける職場づくりを目指すことが目標です。私自身は困難な課題にも前向きに挑戦し続けるリーダーになりたいと思っています。

受講しての感想

「今抱えている問題を何とか解決したい」という熱い志をもった仲間と共に、毎日楽しく学んでいます。グループワークでは、受講生同士のコミュニケーションが活性化し交流を深める良い機会となっています。講義内容は、普段病院勤務していると中々目を向けることが無い单元もあり、看護管理者の役割を果たすためには視野を広げることの重要性を理解することができました。

受講理由

自部署の問題や課題を解決するために、昨年セカンドレベルで学んだ知識をさらに深め、具体的な方法を学びたいと思ったからです。ですが、一番の理由はファーストレベル、セカンドレベルを2年連続で受講し、「このままサードもいけるかも」と勢いに乗って受講したいというのが本音です。

モチベーションを保つためにしていること

特にモチベーションを「常に高く持つ」という意識はありません。自分は基本的にポジティブ思考なので「何とかする」という気持ちで過ごしていることが多いからです。リカバリーのために継続していることはランニングです。良い睡眠をとるために普段、夜間に5～10km走っています。

最後に一言

恥ずかしながら当院では従来、看護管理者教育課程を受けるという文化はありませんでした。そのため、私は看護部長になって初めて、ファーストレベルを受講しました。前任者から部長職を受け継ぎ、それなりに管理業務をこなしていましたが、ふっと「これでいいのか。もっと違う方法があるのではないかと」疑問を持ったのが受講のきっかけでした。実際に受講した結果、「目から鱗」で、看護管理の見方ががらりと変わり、さらに学びを深めたいという意欲がわき、翌年はセカンドレベル、今年はサードレベルを受講しています。看護管理者研修を受ける前の私は、看護管理の知識に乏しく、度胸と勢いだけで乗り切っていたように思います。だからこそ、次世代の看護管理者には私と同じ思いをさせたくないという気持ちと、組織全体の目標のためにも看護管理者教育は重要だと実感し当院でも取り組んでいきたいと考えています。これからも看護管理者として「虫の目、鳥の目、魚の目」を持ち、地に足のついた現場感覚を忘れずに頑張っていきたいと考えています。

八戸市立市民病院 小守 里美 さん

趣味

読書



受講理由

上司からの勧めがあったこと。学ぶチャンスをいただいたので、組織の質改善のためにできることを考えたいと思いました。

なりたい自分・将来ビジョン

患者さんや家族、職員の「こうなりたい」を支援していきたいです。

受講しての感想

師長として受講することに不安がありましたが、周囲の方たちからの励ましや応援があり、自分なりに頑張ろうと思いました。先生方の講義では、今の自分たちに必要な情報や考え方をたくさん学ばせていただいています。

モチベーションを保つためにしていること

好きな音楽を聴くこと、いやなことは早く忘れること。

最後に一言

ファースト・セカンド・サードと看護管理者研修に参加し、普段は交流することのない施設の方たちと話をすることで、いろいろな刺激を受け、頑張っています。

令和7年8月19日からスタートした認定看護管理者教育課程サードレベルも、10月17日で閉講。日常業務や家庭との両立など、33日間の長い研修をどんなモチベーションで走ってきたのか。ゴールは目前!! 忙しさマックスの受講生に迷惑覚悟で取材申込。【まなぶ】こと【なりたい自分】などなど3人の言葉の中に、生涯学習のヒントが見つかるかも…(*´∀`)

取材協力本当にありがとうございました。



岩手県立南光病院
道上 勝春 さん

趣味

家族旅行。
今年は九州、
去年は四国を
旅行している。

受講理由

岩手でセカンドレベルを2018年に受講し修了している。いずれサードを受講したいという思いはあったが、コロナ禍になり参加しづらくなっていた。60歳で定年になるので、残り4年自分は自施設で何をしていくのか考えた。サードレベルを受講するなら今年が最後ではないかと思い、自宅から距離はあるが青森で受講したいと考えた。

モチベーションを保つためにしていること

自分だけが大変ではないと思うこと。病院を長期間留守にしているの、僕の分を含めて仕事をしていてくれる職員が多数いること、しばらく家に帰らない生活を続けることで家族に迷惑をかけることを思うことで、モチベーションを保ちサードレベルを受講できている。

なりたい自分・将来ビジョン

基本的には今までの自分より頑張れる自分であること。部下や後輩等が目標とできるような存在であり、看護の知識、技術、態度等があり自施設への貢献度が高い職員を目指している。そのためにも看護管理の講義・実習・演習を通して、経営にも参画できる職員でありたいと考える。

受講しての感想

もう少し岩手県の人、男性がいるのかと思ったが、一人で寂しい感じがすることが一番である。普段は職員・患者・地域関係者等での関わりが多く座っているだけではないので、じっくり座学で知らなかった内容や看護管理に必要な知識を学ぶことができて新鮮な感じである。

最後に一言

男性一人で心細いですが、青森県の観光や美味しい食べ物等とおして元気をもらい、研修生17名が誰一人脱落しないようにお互い助け合いながら33日間のサードレベルがんばりましょう。

お知らせ 看護管理者研修及び新たな認定看護管理者教育課程

7月15日発行の第121号看護青い森で情報発信したところですが、8月7日付けで日本看護協会より一部修正のお知らせが入りました。修正内容は下記になりますので、ご確認ください。

修正点

- ①付加研修開始の時期 → 2026年度から2027年度開始へ変更
- ②現行の認定看護管理者教育過程修了の時期 → 2027年度から2028年度開始へ変更

新たな認定看護管理者教育課程は、
2028年度より予定
通り開始します



青森県看護協会では、日本看護協会の情報を基に、青森県での教育体制を検討しているところです。皆様には適宜情報発信いたします。

研修 Report

ケアの炎をまき散らせ!!

トピックス研修 超人ナイチンゲール



直筆サインと、左から阿部委員長、高林常務、
山内常務、栗原先生、田中委員、斎藤委員

ねぶた祭りの興奮もまだ冷めやらぬ8月9日(土)。【超人ナイチンゲール】著者である栗原康先生を青森にお迎えしました。鬼才文人アナキストが語る【ナイチンゲール】。今年度の目玉研修の一つでもあるトピックス研修です。

身軽な装いとやわらかなオーラをまとって会場入りした先生でしたが、ステージにあがるとガラリと変わり、独特な語り節??で、知識あり・朗読あり、歌あり・笑いあり。栗原ショーのはじまりです。

ナイチンゲールやクリミア戦争の話は勿論、時折交える先生のパートナーとの話や近所の

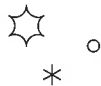
猫の話。先生の言葉を借りると少し『スピッチャー』の神話主義の話。などなど引き込まれっぱなしの4時間。楽しい研修となりました。

先生、楽しい時間ありがとうございました。参加の皆さんも暑い中ありがとうございました。

来年もいい意味で力をぬける研修を企画してお届けできれば。。「これが聴きたい」という候補がある方は教育研修課までご一報を♪

追伸:【超人ナイチンゲール】は協会の図書室にあります。貸出もOKです。是非。【村に火をつけ、白痴になれ】も読んでみようかなあ。

事業課



令和7年度 助産師活用推進事業 助産師の質向上研修①

妊娠高血圧症候群 ～正しい判断できていますか～

7月5日(土)アピオあおもりにて開催

アピオあおもりにて開催され、30名が参加しました。国立病院機構弘前総合医療センター 産婦人科部長の田中幹二先生にご講義していただき、産科特有の様々な症例について実際の事例をもとに、学びを深め、最新の知識を興味深く学ぶことができました。参加者からは是非今後も行っていきたいという感想が非常に多く寄せられていました。



産婦人科部長 田中 幹二先生
によるご講義



助産師職能委員長
下斗米 久美子氏



超音波検査の演習

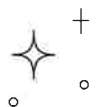
助産師の質向上研修②

超音波検査技術研修

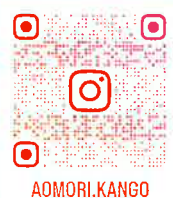
8月23日(土)男女共同参画プラザカダールにて開催

今年で3年目となる超音波検査技術研修を開催しました。参加者17人は、助産師職能委員長の下斗米久美子氏から助産師が行う超音波検査の意義や留意すべき事項等の講義を受けたのち、青森市民病院臨床検査技師の新山聖子氏・山内亜依氏から、超音波検査の技術指導を受け3グループに分かれて、1人ずつ丁寧に指導していただいていた。

自施設に戻ってから、学んだ技術が妊婦さんへのケアの質向上につながることを期待したいと思います。



青森県看護協会でも
フォローしてね!
Instagram始めました!



AOMORI.KANGO

医療的ケア児支援看護師技術研修開催

8月28日(木)アップルパレス青森にて開催

今年度も医療的ケア児支援看護師技術研修を開催しました。20名の参加者たちは、喀痰吸引・胃ろう管理・インスリンポンプ、人工呼吸器、排痰補助装置について演習を行ったり、気管カニューレ抜去時の対応や乳幼児蘇生について真剣に学んでいました。

県立中央病院の小児看護専門看護師の羽場さん、ほ〜むおんナースステーションの管理者雪田さんも演習を支援してくれ、各グループで質問がたくさん出ていました。多くの業者さんにも協力していただきとても充実した研修会でした。支援していただいた皆様に感謝申し上げるとともに、学んだことをそれぞれの施設等で十分に活かしていただきたいと思います。



“リブレ”体験中



排痰補助装置



胃ろう管理

看護補助者の確保について

青森県ナースセンターでは、ハローワークと連携し看護チームの一員である看護補助者の就業支援を行っています。

職業として看護補助者の仕事を知り、選択してもらうため、県内9カ所のハローワークで、来所する求職者に対して、「看護補助者のお仕事説明会」を開催しPRしております。



仲間が増えるっていいね!



タスクシェアでキノウ改善!

令和7年度 訪問看護師基礎研修

腹部のフィジカルアセスメント

6月27日(金) 青森県立保健大学にて開催

角濱春美教授、小池祥太郎准教授を講師に19名が参加しました。

昨年度よりフィジカルアセスメントをシリーズ化して今年度も開催しました。講義は終始和やかな雰囲気の中にも、合間合間に質問が飛び交い、積極的な学びが感じられる研修でした。「基礎から復習できた、実践に活かしたい」「事例から学ぶ問題解決の方法に興味を持った」等の多くの声があり、有意義な研修でした。

研修の様子



心マッサージ用の模型を使った演習



誤飲時の救護演習

令和7年度 復職支援研修

救護に必要な知識と技術

7月3日(木) ホテル青森・7月23日(水) ユートリーにて開催

日本赤十字社青森県支部の山野内博見氏を講師に開催しました。

県内で来年度に開催予定の国スポ・障スポで多くの救護スタッフが見込まれていることもあり、参加者は52名と関心の高い研修でした。講義と演習で行われた研修は、心マッサージ用の模型を2人一組で使用、AEDの他に誤飲時の救護等も演習でき、充実度の高いものになりました。臨時求人をはじめ再就業に向けても良い刺激となり、今後の再就業が期待されます。



令和7年度 復職支援研修

高齢者の皮膚ケア

7月15日(火) リンクステーションホール青森にて開催

青森市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師岡田奈穂美氏を講師に21名が参加しました。

演習では、ベッド2台を利用し、ポジショニングの実際について各自が経験出来るように、また創傷被覆材の具体的な使い方についても演習を行いました。参加者の背景が様々であり、今後は訪問看護など在宅療養者を対応とした内容も網羅する等、研修内容をアレンジして企画していきます。



ポジショニングの演習

職能委員会

保健師

保健師の魅力発信事業

8月3日(日)、青森市男女共同参画プラザカダールで、「令和7年度保健師の魅力発信事業」を開催し、中学生や高校生及び大学生31名と保護者14名が参加しました。

前半は、保健師の仕事紹介セミナーとして、青森県東津軽保健所、平内町役場、青森産業保健総合支援センターで活躍する保健師から、それぞれの保健師活動や役割等、具体例を交えながらお話がありました。続く座談会では、「保健師として働くうえで、病院での看護師経験があった方が良いか?」「保健師を目指したきっかけは?」「保健師はどういう人が向いているの?」「保健師として働いていて、大変なことは、どんなこと?」など、たくさんの質問

をいただき、保健師が自身の経験を交えて回答し、仕事の魅力ややりがいを直接伝える場となりました。

後半は、なんでも相談ブースを設け、保健師になるための進学ルートや資格取得、学校生活への不安や就職に関する相談等、個別にアドバイスしました。参加者からのアンケートでは、「保健師になってみたいと思った」との回答も多く、この事業を通し、中学生や高校生等、若い人たちが保健師という職業を身近に感じてもらえる良い機会になったのではないかと感じました。

記：保健師職能委員 鈴木 美佳



助産師

産科混合病棟のユニットマネジメントに取り組んでいます!!
～母子のための安心・安全な療養環境推進のために～

分娩件数が減少する中、青森県内の分娩取扱病院は全て混合病棟となりました。産科の患者さんが他科の患者さんと同室になるなど、安心して妊娠・出産・育児を迎えるためには難しい環境となっている状況もみられています。昨年までに、実態調査や研修を行ってききましたが、今年は、県内全ての分娩取扱病院で産科の患者さんの入室する区域が決められ、充実したケアが受けられるように、各医療施設の構造や勤務状況などの実情を踏まえた個別の支援を行っています。

記：助産師職能委員長 下斗米 久美子

日本看護協会発行

「より充実した
母子のケアのために
産科混合病棟
ユニットマネジメント
導入の手引き」

日本看護協会
ホームページから
ダウンロード可能です!



看護師 II

「地域での看取りを考える」研修会

看護師職能委員会 II では令和 2 年に続き、各施設での看取りの現状と課題を共有し、地域連携について考えるための研修を実施しました。

行政からは、看取りに関する施策や ACP の取り組みについて。各施設からは、それぞれの看取り支援の実際を詳細にお話しいただき、その後、講師の方と 36 名の参加者でグループワークを行いました。

そこでは、「県内でこれほど積極的に看取りを実施している施設があることを知って驚いた。」また、「看取りを推進するため各施設の具体的な取り組みが詳細に話され、それぞれの施設での自分の役割や課題が明確になった」など活発に意見が交わされました。

青森県の高齢化率は上昇の一途をたどり、地域での支援が必須と予想される中、地域で暮らす人々の ACP の啓蒙が必要なこと、それに対応できる人の育成と病院を始め福祉施設などの連携が重要なことだと明確になった研修となりました。参加者の皆様からのご質問も多く、ネットワーク作りにも寄与できたのではないかと感じております。

今後も当委員会では地域を支える看護師の課題解決のための活動を実施して参りますので、多くの方のご参加とご意見をお待ちしております。

記：看護師職能 II 委員 天摩 典子



看護師 I

2025 年度第 1 回全国職能委員長会に出席して

「病院看護職に対する暴力・ハラスメントの現状について」のテーマで、全国の委員長から意見が出されました。全国的に、医師、同僚、多職種、患者・家族からのハラスメントは同様の事が起こっています。多くの病院が警察 O B の雇用、ハラスメント委員会、相談窓口が設置され、対策も実施されています。しかし、それらが、うまく機能しているのが課題です。皆様の病院ではどうでしょうか。立ち返ってみてはいかがでしょうか。

記：看護師職能 I 委員長 工藤 由紀子



研修等開催のお知らせ

研修一覧検索&
研修申込サイト
manaable

研修申し込みサイト
"manaable (マナブル)"
からお手続きください



11月

12 土	エコーを活用した排泄ケア～初級・中級コース～ 利用者の身体状態をエコーで可視化し看護実践に活かす	受講料 ¥24,000 担当課 訪問看護総合支援センター	受講料(非会員) ¥24,000 形式 eラーニング・会場参集
5 水	看護師に理解して欲しい食べることのケア 講義・演習	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 会場参集
8 土	第54回青森県看護学会 特別講演・口演発表	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥7,700 形式 会場参集
15 土	産後ケア事業推進交流会 県内の産後ケア事業の実態を把握し、産後ケア事業を推進していく	受講料 無料 担当課 助産師職能委員会	受講料(非会員) 無料 形式 会場参集
17 月	児童虐待の初期対応と多職種連携 講義	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 オンライン
18 火	会員限定企画「現場で使える英会話セミナー」 看護職が英会話を学び、外国人患者への対応に役立てることができる	受講料 無料 担当課 総務課	受講料(非会員) ——— 形式 オンライン
28 金	eラーニング活用「外来における在宅療養支援能力向上」のための研修プログラム eラーニング演習	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 eラーニング・会場参集
29 土	他の医療専門職とのタスクシフトシェア研修会 医療専門職との業務分担やタスクシフトシェアを推進する方法を学ぶ	受講料 無料 担当課 看護師職能委員会	受講料(非会員) 無料 形式 会場参集

12月

2 火	採血・血管確保・筋肉注射の実技 採血・血管確保・筋肉注射に関わる知識・技術の再習得	受講料 無料 担当課 ナースセンター	受講料(非会員) 無料 形式 会場参集
3 水	あなたの一言がハラスメントにならないために 講義	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 オンライン
18 木	心理的安全性とは 講義	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 オンライン

1月

16 金	せん妄の予防とケア 講義	受講料 ¥3,300 担当課 教育研修課	受講料(非会員) ¥11,000 形式 オンライン
---------	------------------------	-------------------------	------------------------------

“クオカードの申請”忘れていませんか

会員限定で、対象の研修を3コース以上受講された方は**クオカードを差し上げます。**

申請が必要になりますので、申請書を看護協会ホームページからダウンロードしてご提出ください。



11/8土
開催

第54回青森県看護学会 当日参加について

今年度は学会の当日参加が可能になりました。申込期限内にお手続きできなかった方や、予定変更で参加可能になった方など、当日参加をご利用ください。

当日の
参加方法

- ① 学会当日に受付で申込と参加費のお支払(支払方法はクレジットのみ)
- ② 金額は 当日参加費:会員4,400円 非会員9,900円
- ③ manaableへの会員登録は必須 注)事前に済ませて会場いいただくと、スムーズにお手続きできます。



青森県健康医療福祉部長との 意見交換会

7月23日(水)青森県庁にて「青森県健康医療福祉部長との意見交換会」を行い、青森県からは守川健康医療福祉部長・後村医療薬務課長他5名が出席し、当協会からは川野会長の他、副会長2名、常務理事3名・事務長が出席しました。

看護協会からは「2040年に向けた看護提供体制の確保について」をテーマに、「看護師確保・育成対策について」と「オンライン診療の方向性と看護職能役割(D to P with N)について」の2点についての課題と対策、県に対する要望を伝えました。

意見交換は終始和やかな雰囲気の中で行われ、守川健康医療福祉部長は「看護協会の説明内容に全く同感であり、今後も協力しながらいろいろな課題に対応していきたい」と述べられました。



意見交換の様子



県への要望を
伝える
川野会長



協会からの要望等に耳を傾ける
守川健康医療福祉部長

守川健康医療福祉部長・
後村医療薬務課長(向かって左)と
看護協会役員



八戸看護専門学校3年生による 青森県看護協会訪問学習

7月11日(金)に八戸看護専門学校3年生、9名が看護協会を訪れ、保健・医療・福祉向上のための取り組み等について学びを深めました。

国内研修の位置づけで、学生が企画したものです!

学生から事前に出された質問項目に沿って協会から説明した後、意見交換が活発に行われました。

最後に学生から「今後の社会情勢の変化に伴い、より看護職の資質が求められることから、知識・技術を磨いていきたい」という力強い感想が聞かれました。



意見交換の様子



全員で記念撮影!



質問する学生たち



日本看護協会 News

◆日本看護協会では2025年6月に「看護の将来ビジョン2040」を公表し、将来を見据えて看護が進むべき方向性、果たすべき役割を明示しました。

日本看護協会のHPには「看護の将来ビジョン2040紹介動画(日本語版)」も掲載されておりますので、是非ご覧ください。



◆ICN(国際看護師協会)は新たな看護および看護師の定義を公表し、日本看護協会が和訳を行いました。こちらもHPに掲載されております。

こんにちは!
准看護師
理事の高橋です。
Part.4

連載4回目となり、今後の活動予定をお伝えいたします。将来的なネットワーク構築に向けて、県内准看護師の皆さんへの情報発信を柱に活動していきたいと考えています。

中でも、私達准看護師のキャリアアップには進学が必須であり、看護協会が全面的に進学を支援していることから、准看護師理事として進学に関する情報をどんどん発信していきたいと考えております。そこで、次号では進学された方の体験談として、進学したきっかけ、進学して良かったこと、苦労したことなどを看護協会の協力を得て発信する予定です。

さらに今後は、身近な准看護師の方々から、こんなことを知りたい、こんなこと調べて欲しいなど、様々なご意見を伺って皆さんと共有していきたいと考えております。

引き続きよろしくお願いいたします。

記: 准看護師理事 高橋 善弘(むつりハビリテーション病院)

支部
だより



健康まつりに参加しました

東青支部

令和7年9月6日(土)

シニアフェスティバル

in 青森県総合社会教育センター

中弘南黒支部

令和7年7月13日(日)

第38回市民の健康まつり

in 市民文化交流館ホール3階
ヒロスクエア

ニプロ医療機器データ通信サポートシステム
HN LINE
Hospital Network Line

携帯情報端末 データ連携 電子カルテ

血糖管理 バイタル管理 輸液管理 連続見守り

血糖 SpO₂ 呼吸数 体温 血圧 脈拍 輸液ポンプ シリンジポンプ 心拍心電波形

この広告に關しての
お問い合わせ先 資料請求先

ニプロ株式会社 大阪府摂津市千里丘新町3番26号
2023年5月作成

不要な羽毛ふとんはありませんか？ 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。

引取り詳細▶



- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外には引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

東洋羽毛北部販売(株)青森営業所
〒030-0121 青森市妙見1丁目5-10

0120-389553

令和7年度会員数

令和7年9月11日現在

7,922名

(昨年9月比 - 322人)

保健師

198名

(昨年9月比 - 5人)

助産師

311名

(昨年9月比 - 9名)

看護師

7,166名

(昨年9月比 - 286名)

准看護師

247名

(昨年9月比 - 22名)

編集後記

今回、子育て中のママさんナースから貴重なお話を聞くことが出来ました。

また、青森県看護協会ではInstagramを始めました。協会の活動状況やお知らせなどを配信していますので、ぜひ登録をお願いします。

広報出版委員会